



編集発行
熊谷学園
第 25 期校友会
発行 森 義雄
編集 宮澤 古登



文芸同好会例会

■新企画・暑気払いと落語■

今年度から、総会の進行を簡素化して、後半の食事会の時間を沢山取るようにしましたが、形式ばった事業もなるべく少なくして、多くの会員が楽しいひと時を過ごす機会を増やそうと、企画部が楽しい催しを計画しました。

その初の試みとして 8 月 29 日に「暑気払い」を行いました。参加者は 25 人で、会場は足の便も考え、熊谷駅ビル 5 階のさくら水産です。レストランではないので、掘炬燵風の床に数人が足を入れると触れ合うと云う窮屈さです。でも、「男女七歳にして席を同じうせず」はとうの昔に過ぎた会員たち、そんなことは関係なく、慣れないタッチパネルの画面に戸惑いながら、飲み放題のアルコール等を注文し話に花を咲かせました。施設見学会の始まりの頃のエピソード、飼い犬に手首を噛まれた話（ことわざではありません）、我が家の庭ではなく自分の耳の中で蝉が鳴くようになった話……。予定時間を大幅に超え、広報担当者が話に引き込まれて写真を取り忘れるほど盛り上がりました。

2 回目の 11 月 13 日は、熊谷市緑化センターで熊谷市市政宅配講座「我が家の安全対策・防災対策」を学んだあと、「落語長屋おもしろ荘」から花追亭みみ寿師匠と取締亭きせる師匠をお招きして、短い時間でしたが、会場から笑いと拍手が何回も起きた、面白い落語を聴かせて頂きました。



市政宅配講座



花追亭みみ寿師匠



取締亭きせる師匠

■80歳の泣き言■

6班 関 喜守

皆様方暫くでございます。今回、森会長より連絡をいただき何か便りでもと言うお話でしたので、恥をしのいで自分の現在の生活ぶりをお話し致します。

病に倒れたのが 75 歳、夜中でしたので病院に着くまで 6 時間位かかり治療を受けるのが遅れてしまい、残念ながら右半身不自由になり、毎日大変な日々を送っています。現在も週 1 回の割でリハビリに通っています。80 歳だから「もういいか」と思っているのですが、人間弱い生きものでございましてなかなかうまくいきません。ただ一つの救いは、自分事は自分で出来ています。調子良い日はパークゴルフ等に行く事もありますが、体調と天候との関係があり思う様にはいきません。暑い日は別として毎日散歩をしています。

校友会迷惑ばかりかけていますのでどうしようかとは思っているのですが、いつの日かお逢いできる日もあるかと思ひ、頑張ってみようかと考えております。勝手に申し訳ございませんがよろしくおねがい致します。

ありがとうございます。皆様どうぞお元気で。

昨年は私にとってとても嬉しい年でした。

鴻巣市第1回8020よい歯のコンクールの募集を見て、私は80歳過ぎても28本の歯があるので該当すると思い申し込んだところ、18名の中に選ばれ、鴻巣市長より表彰状を頂きました。そして更に、埼玉県北足立歯科医師会長からも表彰されましたが、残念ながら埼玉県のコンクールには進めませんでした。

私は、小さい時から、食事の後すぐに歯磨きをする習慣がありました。その積み重ねで今の丈夫な歯を保てることができ、固い物などなんでも食べられるのが健康の秘訣かなあと考えています。

昨年8月2日には、群馬県の新聞に私の8人兄弟姉妹の年齢が合計で700歳を目指すという記事と写真が掲載されました。上の3人は大正生まれです。記事を読まれた方々から長生きの秘訣はと訊かれ私も返事に困りましたが、兄弟姉妹が仲良く助け合い、笑って過ごすことが一番の薬だと思います。

ストレスが積み重なると体に良くないので、趣味の運動や温泉旅行などを無理しないで楽しみながら残りの人生を歩んで、楽しかったと思える年にしていきたいと思っています。

理事会だより

- * 6月30日(金)・熊連協定期総会の結果報告が行われました。・定期総会の会計報告が行われました。・今年度の班助成金案が承認され、支給されました。・第1回学習会の振り返りが行われ、理事より、ご家族などの介護経験などが紹介されました。
- * 8月25日(金)・熊連協三大事業の計画が具体的に説明されました。・会場と内容などの都合で、第2回学習会を11月13日(月)、12:50~熊谷市緑化センターに変更する提案が了承されました。
- * 10月27日(金)・今年度の熊連協文化祭への25期出展数は、昨年度より大幅に減り3点、芸能祭にはカラオケクラブは不参加との報告がありました。・中間決算報告が行われ、予算執行率は約34%です。

■熊連協三大事業への25期参加者減少■

高齢化や体調不良あるいは会場が遠方になったことなどで、熊連協学習会・文化祭及び芸能祭への25期参加者や出展数が昨年度より大幅に減り、長年出演してきたカラオケクラブも芸能祭参加を断念することになりました。今年は参加できなかったが、来年はぜひ参加したいと気力をアップされることを期待します。妻沼展示館で行われた今年度の文化祭には、大類キクエさんがアートフラワー、藤井ナオさんが俳句、日下勝美さんが絵画を出展されました。

■編集後記■

伴武彦さんの後を引き継いで編集のお手伝いをしますと手を挙げたのですが、パソコンは簡単な操作しか知りません。森会長にご指導いただきながら編集のお役に立てればと思います。どうぞよろしく願いいたします。(宮澤)

熊連協事業への参加者が少なくなってきましたが、前述の25期暑気払いと第2回学習会の出席者は25人と26人でした。会員総数に対する出席率は約67%です。当日都合のつかない方もいましたが、これまでより病状が進みあるいは新たに病気や怪我の方が増えてきました。

そうした中で、自分の足で会場まで行くのはきつけれど、なるべく家に閉じこもらず外に出て、久しぶりに会員と顔を合わせておしゃべりをしたいと、家族の方の運転で、第2回学習会に参加された方が2人いました。

このような方々や前頁の関さんはじめ、いつかはまた会員と逢える日が来るかとリハビリや治療に励んでおられる方々のためにも、校友会を継続しなければいけないと、気持ちを新たにしました。(m)